

2019年5月14日

横浜ゴム、2019年度第1四半期連結決算を発表 2019年度通期業績見通しを上方修正

横浜ゴム（株）の2019年度第1四半期累計連結決算（2019年1月1日から2019年3月31日）は、売上収益が前期比0.2%増の1,495億円と過去最高となり、事業利益[※]が同50.1%減の58億円、営業利益が同8.4%減の129億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同2.2%減の91億円となりました。

※日本基準の営業利益に当たる指標として設定。事業利益＝売上収益－（売上原価＋販売費及び一般管理費）で算出。

タイヤ事業では、新車用タイヤは、国内での納入車種の切り替えなどにより販売が低調だったほか、海外においては、中国で景気減速に伴う自動車生産調整が続いており、国内、海外ともに売上収益は前期を下回りました。一方、市販用タイヤは、従来品でも定評のあった優れたウェットグリップ性能を確保しながら、低燃費性能を一段と向上させたグランドツーリングタイヤ「BluEarth-GT AE51（ブルーアース・ジーティー・エーイーゴーチ）」を2月に発売するなど、積極的にグローバル・フラッグシップブランド「ADVAN（アドバン）」シリーズや低燃費タイヤブランド「BluEarth（ブルーアース）」シリーズ等の高付加価値商品の拡販に努めましたが、国内での暖冬の影響により冬用タイヤが低調だったことから、売上収益は前期を下回りました。以上の結果、タイヤ事業の売上収益は前期を下回り、事業利益については販売数量の減少に加えて、生産量減少に伴う製造原価の悪化等の影響により減益となりました。

MB（マルチプル・ビジネス）では、ホース配管事業は、国内の建機需要が引き続き堅調だったことに加え、海外でも自動車向けが堅調で、売上収益は前期を上回りました。工業資材事業は、国内外でコンベヤベルトの販売が好調だったほか、海外での海洋商品の販売が増加したことにより、売上収益は前期を上回りました。ハマタイト事業は、国内の建築用シーリング材の販売が好調で売上収益は前期を上回りました。航空部品事業は官需、民需とも好調で売上収益は前期を上回りました。以上の結果、MB事業では売上収益、事業利益とも前期を上回りました。

ATG は、農業機械用・産業車両用タイヤを始めとするオフハイウェイタイヤは、欧州における新車用タイヤの販売が好調だったことに加え、市販用タイヤも各地域で好調だったことから、売上収益、事業利益とも前期を上回りました。

2019年度の業績予想につきましては、固定資産の売却益計上を踏まえ、前回公表予想（2019年2月公表）を修正いたします。売上収益は6,600億円、事業利益は575億円と据え置き、営業利益を前期比21.5%増の650億円（前回予想比13.0%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益を前期比29.1%増の460億円（前回予想比15.0%増）を計画いたします。

決算ハイライト

(百万円)

	2019 年度第 1 四半期 (2019.1.1~2019.3.31)	2018 年度第 1 四半期 (2018.1.1~2018.3.31)
売上収益	149,523	149,157
事業利益※	5,833	11,694
営業利益	12,878	14,066
親会社の所有者に帰属する四半期利益	9,127	9,335
資本	392,170	368,617
資産	880,007	874,900
一株当たり四半期利益 (円)	56.90	58.22

事業別

(百万円)

	2019 年度第 1 四半期 (2019.1.1~2019.3.31)	2018 年度第 1 四半期 (2018.1.1~2018.3.31)
売上収益		
タイヤ	100,125	104,195
MB	28,858	26,301
ATG	18,861	16,896
その他	1,678	1,764
事業利益		
タイヤ	1,476	8,040
MB	1,712	1,655
ATG	2,449	1,908
その他	144	81
消去	53	9

※事業利益=売上収益 - (売上原価+販売費及び一般管理費) で算出

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム (株) 経営企画部広報室 担当: 岡
 TEL: 03-5400-4531 FAX: 03-5400-4570